

春の交通安全県民運動実施要綱

運動期間：令和4年4月6日（水）～4月15日（金） 交通事故死ゼロを目指す日：令和4年4月10日（日）

運動の目的	この運動は、県民一人一人が、交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践することにより、交通事故を防止することを目的とする。			
運動の進め方	実施機関・団体は、相互の連携を密にして、地域や組織の実情に即した実効性のある交通安全運動を展開する。			
運動の重点及び実施事項				
重点	子供を始めとする歩行者の安全確保	歩行者保護等の安全運転意識の向上	自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保	飲酒運転の撲滅
運動者・歩行者は	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断する時は、止まって、見て、合図を出して、車が確実に停止するのを待って、渡りましょう。 ○ 歩きスマホはやめましょう。 ○ 近くに横断歩道がある時は、必ず横断歩道を利用しましょう。 ○ 青信号で横断する際も左右の安全確認をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道に横断者がいる時は、一時停止して横断者を優先させましょう。 ○ 高齢運転者は、身体機能の変化に応じた安全運転を心掛けましょう。 ○ 妨害運転（あおり運転）は犯罪です。「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自転車安全利用五則」を守りましょう。（※） ○ 自転車保険加入しましょう。 ○ 夕暮れ時は、早めにライトを点灯し、反射材用品等を装着しましょう。 ○ 自転車は車両です。見通しの悪い交差点では徐行し、「止まれ」の標識があるときは、必ず一時停止しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転は犯罪です。「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」ことを徹底しましょう。 ○ 二日酔い運転しないよう、運転前にアルコールが残っていないか確認しましょう。 ○ 飲酒運転を見掛けたら必ず110番通報しましょう。
家庭・地域・職場では	<ul style="list-style-type: none"> ○ 街頭での交通安全指導、保嬰誘導活動を推進しましょう。 ○ 通り慣れている道路の危険箇所や身近に起きた交通事故について話し合い、一人一人が安全行動に努めましょう。 ○ 反射材用品等の視認効果や使用方法について確認し、着用を呼び掛けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道等における歩行者等の保護意識の向上に努めましょう。 ○ シートベルトとチャイルドシートの着用の必要性について話し合いましょう。 ○ 「ながら運転」の危険性・迷惑性について話し合いましょう。 ○ ドライブレコーダーの設置を検討しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ながら運転」の危険性・迷惑性について話し合いましょう。 ○ 家庭、職場でヘルメットの着用を呼び掛けましょう。 ○ 従業員に対して、安全利用に関する指導や業務で使用する自転車の保険加入状況について確認しましょう。 ○ 自転車の定期的な点検整備に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転による事故の悲惨さや責任の重さについて話し合いましょう。 ○ 飲酒運転を防止するため、通報訓練を始めとする研修会の実施などに取り組みしましょう。 ○ 運転前後の従業員に対し、酒気帯びの有無を確認しましょう。 ○ アルコール検知器を活用しましょう。
実施機関・団体は	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道マナーアップ運動を積極的に推進しましょう。 ○ 街頭での交通安全指導、保嬰誘導活動を推進しましょう。 ○ 参加・体験・実践型の交通安全教育を推進しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道マナーアップ運動を積極的に推進しましょう。 ○ セーフティ・サポートカーなどの普及を促進しましょう。 ○ 妨害運転を受けた場合の対処方法に関する広報啓発活動を推進しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県自転車条例の周知に努めましょう。 ○ 反射材用品の装着やライト点灯を促進する広報啓発活動を推進しましょう。 ○ 参加・体験・実践型の交通安全教育を推進しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県飲酒運転撲滅条例の周知に努めましょう。 ○ 飲酒運転撲滅宣言企業（宣言の店）に登録し、「ハンドルキーパー運動」を推進しましょう。
ウェブサイトやSNS等による情報発信に積極的に取り組みましょう。				

※ 自転車安全利用五則

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用